



問 道路整備プログラムと効果的、効率的な道づくりについて質す

津市の道路整備は透明性の高い計画か。客観的な評価での重要度や時期の設定、上位計画との整合性、市民の意見はどう反映・構築されているか。

また、地域の特性に応じた道づくりについて、道路デザインを考える上で道路空間の再配分、既存道路の有効活用の視点、およびより良い道路景観や賑わいの創出等、道路デザインの事例はどうか。市民の協力等、ソフト面を含めて質す。

答 官民が連携し、道路空間に対するニーズの実現に努めていく

計画的な維持修繕や、地域間の連携・緊急の対応・安全確保に必要な道路の新設改良といった、津市の持つ計画と国の施策とが合致した整備計画について、交付金事業としての採択を受けた事業を県の道路整備に関するプログラムに登録の上で地域の方と協議しながら実施している。

また、重要な交通結節点である津駅周辺において道路空間の再編に向け、官民が連携し、その実現に向けた動きを進めている。

地域特性に応じた効率的な道づくりとして、津駅周辺道路空間整備広域ネットワークの整備を行い、地域住民の安全と利便性を図る整備を進める。

その他の質疑・質問

- 道路整備がもたらす地域経済への効果について
- 農林水産業、観光業の影響は
- 企業立地等の商工業に関わる事案は
- 道路舗装と橋梁の維持管理について
- 通学路、生活道路の安全対策と検証について
- 道づくりの取り組みについての広報活動は
- 農道、広域農道の保全対策と維持管理は **など**

▶
まちなかの価値を高める施策、津駅につながる広域的な道路ネットワークづくりに着手



問 ペットは家族、一緒に避難を

市内の避難所は、津市ホームページなどにはペットを連れて避難できると書かれているが、屋根や人との境があるペットの居場所は確保されているのか。

避難した際にペットの居場所がないということがないように、今一度調査した上で、ペットの同行避難の可否を津市ホームページなどに掲載してはどうか。

答 同行避難は可能であり、今後、避難所の状況を確認していく

津市の場合同行避難という形でペット連れの避難者の対応を行っている。

居住スペースへのペットの持込みは、基本的には禁止とし、飼育ルールを説明してペットの管理の徹底を図っていただくことをお知らせしている。ほかの避難者に迷惑がかからないよう、屋外の所定の場所で首輪やゲージを用い、飼い主が自身で管理飼育することを基本としているが、管理方法については、集まった避難者や施設管理者等が協議して決めることとしている。

今後、ペットの管理場所として屋根のある場所を確保できないと見込まれる避難所を確認する。

その他の質疑・質問

- 市道内多清水ヶ丘線について
- 生活応援商品券について
- おくやみ手続きについて
- 地域懇談会について
- 災害時の分散型エネルギーについて
- 学童保育の担当職員の増員について
- サイバー攻撃の対策は **など**

▶
ペット災害危機管理士の資格講座修了証
※議員本人の修了証

